各組

出る杭、作ります。



2011年、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市に移住デザイナーと建築家の仲間を集め、2015年に巻組を立ち上げました。

2011年~2012年 1年間に来石したボランティア のべ28万人

(一般社団法人みらいサポート石巻 調べ)



改修した古民家 30件 運営するシェアハウス 11件 → のべ入居者数 100名



社会的インパクト?

経済的インパクト?

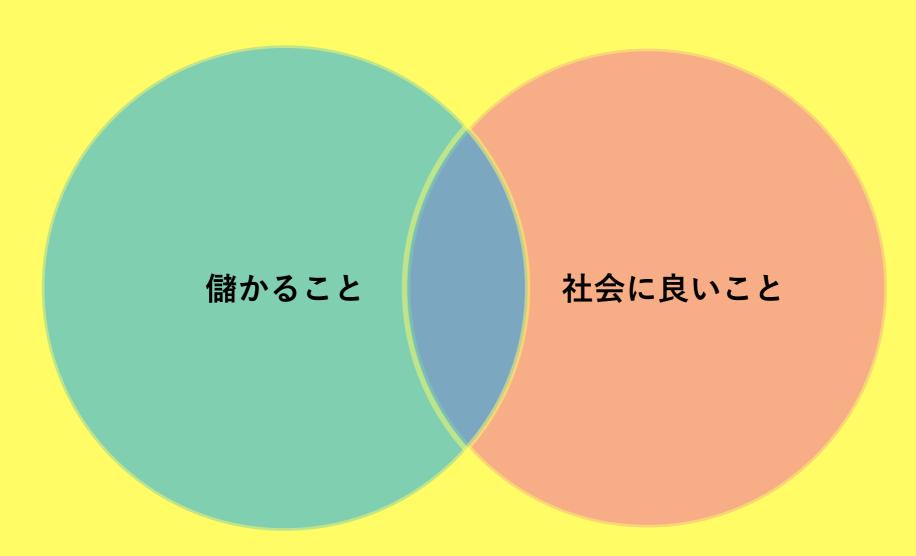
役にたっているのか?

幸せそうに生きている

街が「面白く」なる

結果、人がやってくる





2つの外側にあるアート → 生き方そのもの

儲かることか?

社会にことか?

その2択には限界がある。

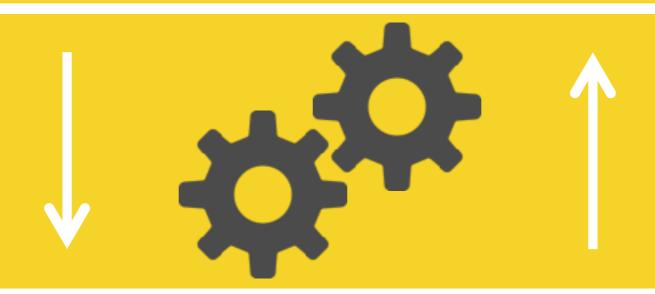
個人が生きることそのものを考え、

「楽しさ」「幸福さ」をビジネスにすることが重要



震災後に生まれたこのモデルを、ほかの地方都市にも広められないか?

「役に立つ仕事」をする必要はない
地域で生きていれさえばそれでいい
そこに暮らすことそのものに価値がある



アート思考人材の暮らしを 資産価値の低い空き家によって担保 家賃収入によって地域経済に還元

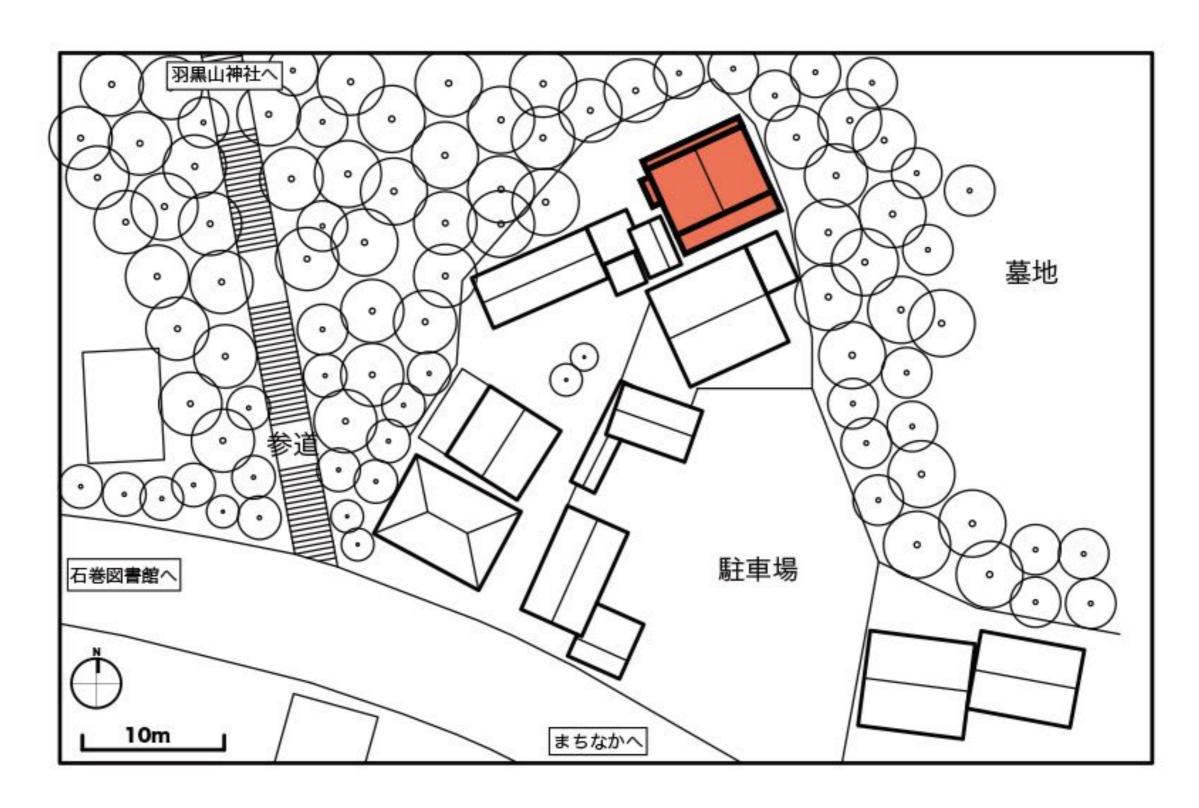
ハグロBASE



住所:石巻市羽黒町1丁目 延べ床面積:38.08mi

構造:木造平屋 工事費:3,000,000円

築年数:約60年 施工期間:2016年2月6日~3月25日



絶望的な立地

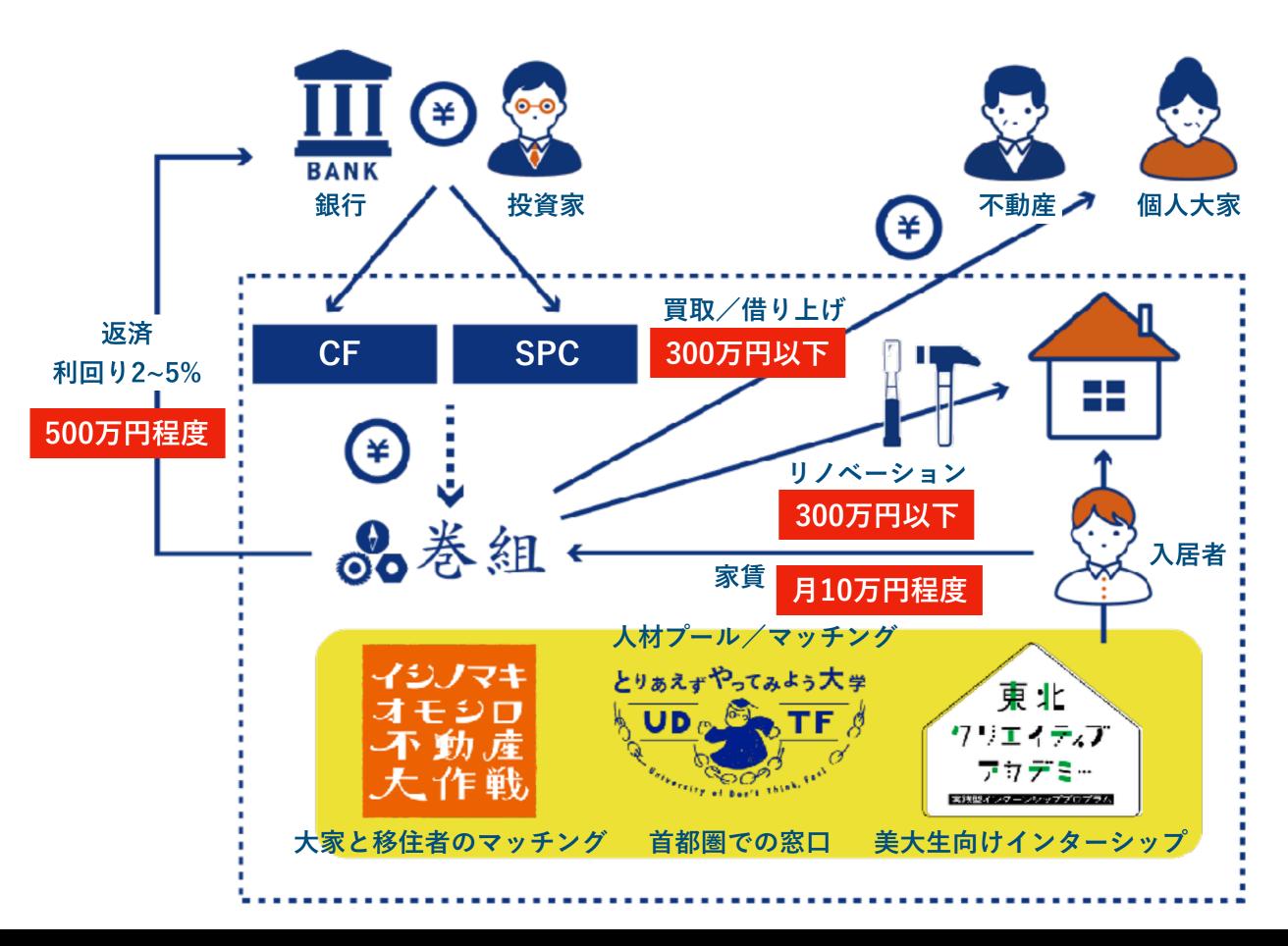


巻組の実績



巻組の実績





見えてきた課題

資金調達

築20年以上の木造物件



高齢の大家

単体事業では出資しずらい

そこで事業実績を積み重ねた会社が リスクをおって資金調達する仕組みが必要

